

例会日：火曜日 12：30～13：30

例会場：三条ロイヤルホテルTel34-8111

事務局：三条市本町3-5-25 三条ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX0256-35-7488

HP：http://www.sanjo-nrc.org

## 本日の行事：卓話「資産運用について」

- ◆本日の出席：58名中25名
- ◆先々週の出席率：58名中58名 100.00%  
(前年同期 76.92%)
- ◆1月の出席状況：会員数58名・例会数4回  
平均出席率 80.60%  
前年同月 74.98%
- ◆本日のゲスト：(株)エフピーエム  
代表取締役 嘉瀬一洋 様
- ◆オブザーバー：米山記念奨学生  
メディナ コントララス, ダニエル 君
- ◆先週のメイクアップ(敬称略)  
7日 加茂RC 石川勝行

\* 本日の配布書類等  
・週報No.1534

## 会長挨拶：高橋 研一 会長



皆さん、こんにちは。当年29回目の挨拶をする前に、本日のお客様の加瀬一洋様、大変お忙しい中ようこそお出で下さいました。誠にありがとうございます。卓話をとても楽しみにしております。よろしくお祈りします。

さて、AIについて少しお話しします。2012年に開催された画像認識コンテストでカナダのトロント大学チームが「ディープラーニング」を適用し圧倒的な精度を実証しました。それはAIに教えるのではなく、AIが自己学習する様に人間が発想を転換しました。しかし、不安なのは人間はAIが答えを導き出した過程がわからないこと。AIの思考回路はブラックボックス。これを警戒する人もいました。アメリカの発明家・未来学者レイ・カーツワイル博士は、AIが発達し人間の知性を超える時点：シンギュラリティー(singularity：技術的特異点)を、2045年に迎えると予測しました。AIをコントロール・監督できるルール作りが急務となります。日本は少子化対策にもAIを活用することにより、生産性が向上し、経済の成長力が高まる一方、資産家と労働者の差も大きくなると心配する声もあるのが現状です。

では、松下幸之助氏の第3弾を始めます。前回は22歳で妻梅野と結婚し、24歳で電灯会社の検査員に昇格、その後ソケットを造りの研究をし、ものにしたいという気が沸いて、7年間勤めた電灯会社を辞めたところまで話しました。続きます。大正6年の10月に研究した少数のソケットが出来上がった。さて売ろうという段になって売り先が分からない。とにかく行き当たりバッタリ電気屋にかけ合ってみようというので出掛けていったが「こんな新しいソケットは売れるかどうか分からないから注文できない」とアッサリ断られた。こうして10日間ばかり大阪市内を駆けずり回り、やっと100個ほど売れ、10円足らずの売り上げを得ただけであった。しかもこのソケットは各方面でまずダメという意見であった。4カ月かかって10円の売り上げ。さらに今後改良の研究を続けねばならないとなると、みんなが不安がるのはもつともである。結局、私と井植(井根歳男氏 現三洋電機社長)だけがこの仕事に残ることになった。

そうこうしているうちに、12月に入ると、ある電気商会から思いがけなく扇風機の碍盤[がいばん]1000枚の注文を受けた。これは扇風機メーカーがいままでの陶器碍盤をネリモノに変えてみようと同商会を通じてきた注文で、井植と2人で全力を挙げて製作した。なにしろ設備といっても型押しポンプとネリモノを煮るナベがあるだけなので骨が折れた。ようやく年の瀬が押し迫って1000枚を仕上げ、製品もきれいに出来たので先方も喜び、私もこのとき差引80円ほどではあるが初めての利益を得たのであった。

こうしてソケットは失敗したが碍盤の注文が続いて得られたので、事業は細々ながら続けられ、

翌年（大正7年）本格的に電気器具の工夫、製作をしたいと市内大開町に16円50銭の家を借りて住むことになった。

日本経済新聞掲載 松下幸之助著「私の履歴書」より要約抜粋

**奨学金授与**  
米山記念奨学生  
メディナ コントレラス,  
ダニエル 君



## 幹事報告：羽賀一真 副幹事



- ・地区米山記念奨学委員会より「米山記念奨学期間終了者の終了式・歓送会のご案内」  
日時：2019年3月2日(土) 12:30～ 会場：ホテルリア軒 3F サマルコ
- ・新保副ガバナーより「新入会員研修セミナー開催のご案内」  
日時：2019年3月16日(土)  
会場：ホテルクラ新潟 4F コンチネタル
- ・市内8クラブ有志ゴルフ会 担当クラブの下田ライオンズクラブより  
「第39回 8クラブ有志ゴルフ大会 打合せのご案内」  
日時：2019年3月13日(水)18:30～ 会場：魚長
- ・植木康之のバスターガバナー ご夫人 和子様より忌明け礼状が届いています。

## ロータリー財団ボックス：12日現在累計181,000円

渋谷 義徳君 財団のBOXに協力します。  
今井 克義君 〃  
梨本 文也君 〃



## 米山奨学ボックス：12日現在累計1,275,000円

早川 瀧雄君 FPMの嘉瀬社長、100kmウォークに参加した内孫も今年高校受験です。その節は大変お世話になりました。  
星野 義男君 加瀬さんの卓話に感謝して!!  
石丸 進君 森委員長に協力します。  
森 宏君 連休東京にいたら、雪が降って寒かったです。



## スマイルボックス：12日現在累計674,000円

坂内 康男君 本日卓話嘉瀬様、大変ごくろうさまです。楽しみです。  
石川 友意君 嘉瀬社長様の卓話に感謝して!!  
本田 芳久君 嘉瀬一洋様、卓話を楽しみにしています。よろしくお願ひ致します。  
福岡 信行君 嘉瀬さん、楽しみにしています。入会もお願いします。  
羽賀 一真君 加瀬さん、お久しぶりです。今日は卓話よろしくお願ひします。  
高橋 彰雄君 協力致します。  
岡田 健君 BOXに協力です。



## 本日の行事：卓話「資産運用について」

株式会社 エフピーエム 代表取締役 嘉瀬 一洋 様



なぜ資産運用が必要なのか？  
ズバリ必要です！それは時代が変わったからです！

なぜなら政府が言っています。  
「貯蓄から投資へ」と金融機関

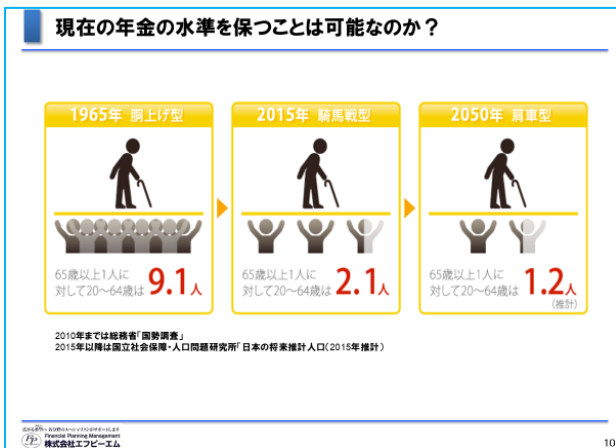
も大きく変わりました。地元でも金融機関の統合が話題となっていますが、店舗統合して経費削減

となり、利用者へのサービスの充実かと思いましたが、現在コンビニで預金引き出しをして手数料0円のところが、何と4月からは108円かかるそうです。預金してもらったお金を貸出で利ざやを得るといった預貸業務では収益が得られずに、手数料にシフトしているわけです。保険契約や投資信託の販売といった今までに扱わなかった業務

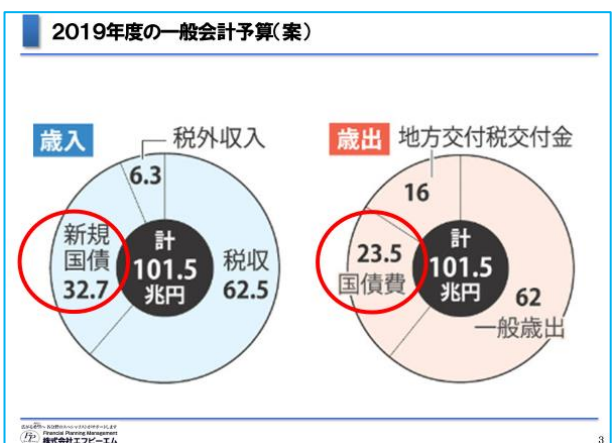
も行うようになってきました。投資信託に関しては、どこの金融機関にも言えることですが時流に乗ったものがほとんどです。これは保険契約も同様ですね。

さて、他の業種ではどうでしょうか？三越はISETANと合併しましたが、来年は顧客数減少で新潟支店も閉店となります。イトーヨーカドーも柏崎に続き長岡店も撤退です。百貨店業界も大変な時代です。街の本屋さんにはアマゾンや電子書籍に変遷し、商店街はイオンに代表される大型店舗へ、そして最近では楽天に代表されるネットショップへ移行しています。実店舗で商品を確認して値段の安いネットにより商品購入するといったも当たり前になり、小売業は大打撃です。また、証券会社はネット証券へ、銀行はジャパンネット銀行やセブン銀行へと様々な業態が、ネットの登場によって激変となる時代を迎えています。日本の企業は加速度的に変わりつつあります。

87、81、さてこれは何でしょうか？これは日本の抱える最大の問題点ですが、日本は世界一の長寿大国であり、世界で一番に超高齢化社会を迎える先進国です。

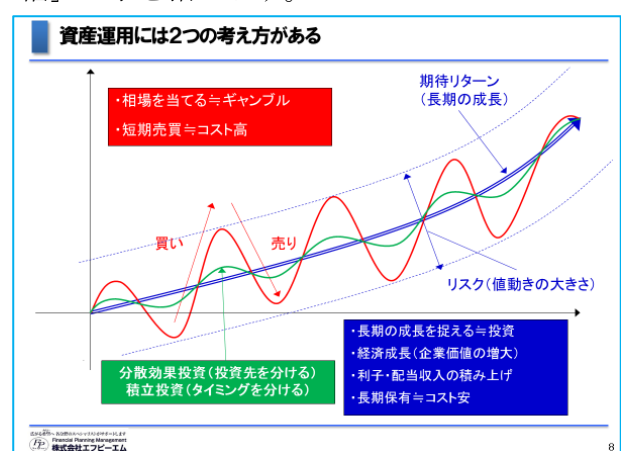


現在では2人でひとりの高齢者を支えている年金は、今の出生率で考えれば2050年には一人でもひとりを支えることとなります。年金受取の現状を維持するとなると社会保険料負担が倍になるのか？それとも半減させるのか？折衷案なのか？いつかは選択を迫られるでしょう。



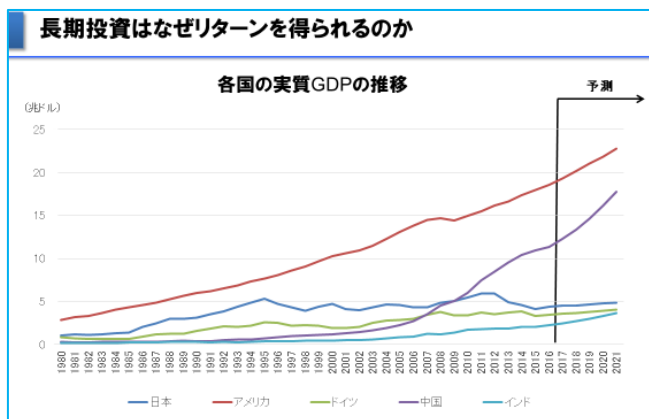
頼みの国自体が大変な状況である私たちの国。今年はどうとう100兆円の予算となりましたが、33兆円の国債発行に頼っています。歳出に関しては24兆円の負担です。一般家計ならば破綻状態です。これを打開するには、消費税の2%値上げでどうこういう問題ではありません。欧州並みに20%に引き上げる必要もあるのではないのでしょうか？また、支給年金額の削減や、医療費の負担割合の見直しなど、抜本的な改革が必要な状態になっているのが私たちの国の現状です。

2016年に世界的に話題になった「ライフシフト」リンダ・グラッドン著にあるように、60歳で定年退職してその後は余生を暮らせるという人生モデルが通用しなくなってきた事は、私たちの国だけの話ではありません。政府も「人生100歳時代」を見据えて人生100年時代構想推進室を設置して、年齢に関わらず新しい知識を学び、定年後も再就職や、副業を持つ勧め、高齢者雇用促進を推進しようとしています。老後のあり方も変化する中で、今ある資産を少しでも増やしで将来に備えるということに対して、日本政府はNISAやidecoに代表されるように様々な特典を設けています。資産運用というと「危険だ!」と思われる方が非常に多いです。冒頭にお話した銀行ですが、日本では預金貯金をする事が当たり前であるということが刷り込まれてきました。郵便局や銀行に預けられた資金は、金融機関が国の国債を買い付ける財源となり社会保障整備が戦後は進められたわけです。ゆえに日本では資産を運用するという概念が育ってこなかったわけです。資産運用とは、相場を当てるようなことではありません。そのことをこれから説明していきます。運用にはリスクがあります。「リスク」と聞くと日本人は、直ぐに危険とか危ないとかを連想します。しかしリスクとは金融の用語としては「ブレ幅」の事を指します。



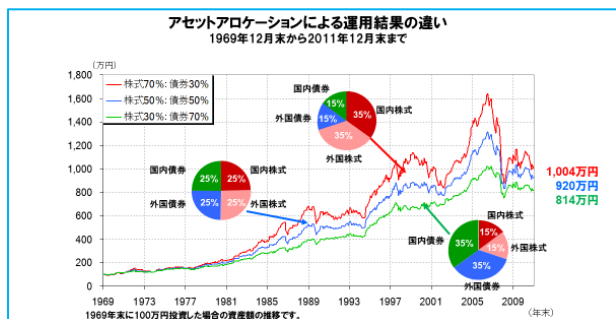
この図のように日本の戦後の成長をイメージしてみてください。良い時もあれば悪い時代もある、しかし経済成長は続けてきたというイメージ図です。個別の企業でも良いでしょう。小さな町工場であった会社が、やがて100名を超す従業員を

抱え、最後は株式上場を果たした！というイメージです。企業価値は常に上がったたり下がったりです。その都度、一喜一憂してその会社の株式の売買をすると手数料ばかりかかることになります。収益の上下（リスクとリターン）はあるにせよ、企業価値としては成長し続けてゆくことに投資をすることが運用です。その間には、利益が上がれば配当も支払われますし、当然成長する企業を売ったり買ったりの短期売買もしませんから手数料もかからない訳です。この真ん中にある青い線が、長期のリターンつまり成長ということになります。違う観点からお話します。



これは世界各国の GDP（国内総生産）です。ダイナミックに上昇を続けているのがアメリカです。次に中国、インド、ドイツ、と続きます。これは先ほどの長期のリターンと同じように見えます。つまりは各国の経済成長なわけです。

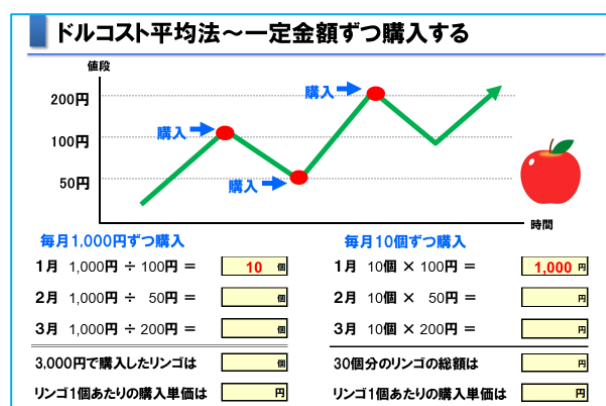
次に有効な活用手法を紹介します。長期の成長に投資をする上で、リスクを減らす手法があります。イメージとしてはこうです。赤いブレ幅のある動きを、緑の線のようにブレ幅を少なくするという事です。これには2つの手法があります。1つは分散投資（投資先を分ける）、もう一つは積立投資（投資するタイミングを分ける）です。分散投資とは、卵を入れておいたカゴを落とす際に、全て割れてしまう事を防ぐには別々にしておいたほうが良いという例があります。



株式ならば国内と外国株式、債権も国内債券と外国債券といったように分散投資することが効果的であるという事です。少々古い資料になりますが、リーマン破綻も含んでいる例としまして過去42年に渡る運用結果の違いを見てください。先程紹介しました、株式と債券を国内・国外で4パ

ーンに分けた場合に、均等に4分割したケースと、株式割合を増やしたケース（株式70%）、そして債券を増やしたケース（債券70%）の3つのパターンです。どれも分散投資をして100万円購入した場合に8倍から10倍の値上がりとなっています。しかし途中ではグラフが大きく上下してリスク・リターンが株式の比率が高いほど大きくブレる事が確認できます。

仮に、一時金で100万円ではなくて、毎月1万円を均等な配分（各25%）で積立投資した場合のケースも紹介します。42年間に渡り毎月1万円（1万円×12ヶ月×42年間＝504万円）投資した場合には1,565万円になっています。約3倍になったという訳です。4つの資産に分散し、尚且つ42年間に渡り時間を分散させた結果です。さすがにリーマンショックの際には大きく下落していますが、長期の成長曲線は変わりません。



さて最後に紹介するのは「ドルコスト平均法」です。毎月一定額を購入することが有効であるという手法です。リンゴの例からもわかるように、値段の上下はあっても同じ購入金額で毎月続け購入金額を平均化できます。この手法は、先程紹介しましたNISAやidecoに大変有効であると思います。ですから、大手企業を中心に401K（確定拠出年金）の導入がかなり進んできましたが、利用している方たちは多くが「元本確保型」の商品選択をしているのが実情です。

世界経済の成長に投資するといった意味では、リスク（ブレ幅）のある資産に投資するには401Kは非常に相性が良いのですが、投資運用に対するアレルギーがまだまだあります。また、しっかりとした説明がなされていないのが現状だと思います。こういった基礎的なお話を、地元の皆さまにより多く知って頂こうと弊社では毎月無料セミナーを開催しています。

今回はこのような機会を頂戴しまして有難うございました。



クラブからの薄謝はスマイルBOXに、ご寄付頂きました。